

市消防操法審査会で第3分団が優勝しました！

令和7年6月15日(日)、北多摩2号水再生センターで、第11回 国立市消防団消防操法審査会が行われました。結果は第3分団が4連覇を達成し、分団員一同喜びに湧きました。



操法審査会 結果発表



3分団長より一言

新体制になり初めての大会での優勝。
喜びよりも安心が大きかったです。

最優秀選手賞

指揮者	第1分団	木ノ下 哲
1番員	第3分団	青木 笠
2番員	第2分団	佐伯 友行
3番員	第3分団	二見 祐作
4番員	第1分団	澤井 勇貴
	第2分団	篠塚 利之

第3分団の操法の様子



報告・伝達は大きな声で
わかりやすく！



最後まで気を抜かずに
集中しないと…



はたらく消防の写生会が開催されました

令和7年4月から5月までの間、国立市内の小学校で「第74回 はたらく消防の写生会」が行われました。こどもたちは、消防車や消防士・消防団員を間近に見ながら、画用紙いっぱいに、思い思いの絵を描いてくれました。みなさんの中から、未来の消防士・消防団員が生まれる事を願っています！



作品集

どれも消防車が力強く表現されていて、とても素晴らしい作品ばかりです。これらの作品に負けないように、日々の消防活動も頑張ります！



三市二署合同水防訓練に参加しました

令和7年5月18日(日)、国立市の多摩川河川敷にて、国立市・立川市・昭島市の三市と、区域を管轄する立川消防署・昭島消防署による合同水防訓練が行われました。台風や集中豪雨の発生時期を前に、大型台風の接近を想定した訓練を実施しました。



当日の訓練で学んだ 水防工法 を紹介します

01 積み土のう工法

土のうを交互にずらして積み上げ、水の流れを防ぐ工法です。河川の越水や浸水を防ぐため、初動対応で活用されます。



02 月の輪工法

半円形に土のうを積む工法で、河川水位と漏水口の水位差を縮めることで水圧を和らげます。漏水口の拡大を抑え、堤防の決壊を未然に防ぎます。



03 鋼板防護工法

堤防の決壊や漏水を防ぐため、鋼板を土のうなどで固定して水の侵入を防ぐ工法です。水圧に強く、堤防保全に有効です。



防災 ミニ講座

リチウムイオン電池関連火災が 増えています！

モバイルバッテリーなどのリチウムイオン電池が原因の火災が急増しています。使用方法をよく確認し、異常を感じた場合はすぐに使用を中止するなど、チェックしてみましょう！

こんな使用方法・状態の場合は危険！

- 熱のこもりやすい場所で使用している
(エンジンを止めた車内、直射日光の当たる場所等)
- 電池が膨らんでいる、変形している
- 過去に落下させたことがある
- 充電中、使用中に発熱している
- 充電できないなどの不具合がある



リチウムイオン電池の廃棄方法

- 排出協力店に持ち込むか、「有害ごみ」として捨てましょう。
- 電池を取り外せない製品の場合は、「小型家電製品」として捨てましょう。



(出典:東京消防庁HP、国立市HP)

分団スナップ

各分団の活動を、リレー形式でご紹介します！

第2分団



新人団員にポンプ車の運転技能指導を行いました。優秀な先輩団員が優しく丁寧に教え、安全第一の技能を習得できました。

第6分団



くにたち駅前盆踊り大会にて、副分団長が太鼓を叩きました！消防警戒と併せてこのような形でも参加しています。

火災出動件数

9件

(令和7年3月～令和7年8月) (うち誤報6件)

火災ゼロの国立市を目指しましょう



今後の活動予定 (令和7年度 秋期)

9月

国立市総合防災訓練（防災フェスタ）
北多摩地区消防大会

11月

秋の火災予防運動

発行:国立市消防団 広報委員会

広報誌バックナンバー

消防団広報誌は、火災予防だけでなく、地域での活動など、身近な消防団の活動をご紹介しています。

市のホームページにバックナンバーが載っていますので、ぜひご覧ください。



国立市消防団広報誌

検索